

リスクコミュニケーションの開催方法について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として実施されてきた「新しい生活様式」が定着しつつある。

このような時代の変化に対応するため、これまで会場式で実施していたリスクコミュニケーションについても、新しい生活様式を踏まえた実施方法を構築する必要がある。

そこで、今後の開催方法として、「YouTube 千葉県公式セミナーチャンネル」(動画配信)の活用を検討する。

「YouTube 千葉県公式セミナーチャンネル」について

- ①参加者(=視聴者)人数は無制限である
- ②コメント機能でフィードバックがもらえる
- ③あらかじめ撮影した動画を配信する方法と、ライブ配信する方法がある

この形式では、内容に興味を持った県民が、それぞれ都合のよい時間に視聴が可能であり、分割して視聴する事や繰り返し視聴することが可能となる一方で、県民が配信内容を視聴したことによって食の安全・安心に関する意識がどう変化したのか、また食に関してさらに知りたいことや不安に思っていることなどの意見を吸い上げることが困難である。

そこで、千葉県公式セミナーチャンネルの動画を視聴した県民から食の安全・安心に関する意識の調査や施策に関する意見を頂くフォームとして、「千葉県電子申請システム」を活用することとしたい。

また、動画配信の形式によるリスクコミュニケーションに関する情報を、興味のある県民に情報提供することも重要である。

従来から「チーバくん食の安全・安心情報メール」により広報を実施しているが、今般、SNSにおける情報共有の重要性が増していることを鑑み、千葉県公式のソーシャルメディアアカウント(LINE及びTwitter)を利用した広報についても併せて実施することとしたい。

今後、「YouTube 千葉県公式セミナーチャンネル」と「千葉県電子申請システム」、
「ソーシャルネットワークシステム」を有機的に組み合わせ、新しい生活様式に適応した
リスクコミュニケーションを実施することとしたい。